

生きものの発見

ふるさとの生きものと遊ぶ



和歌山県立 自然博物館

生きもの発見

ふるさとの生きものと遊ぶ

ルール

- 原則として生きものたちが住む場所、写真を写した時期しか教えていません。
- 目標の生きものを見つけたら、図鑑などでその種類であることを確認して下さい。
- 発見した生きものの名前、観察した日時と場所、観察したことをメモして下さい。
- 生きものは取らずに観察するだけにして下さい。
- 一人で野山や水辺に出かけるのは、非常に危険です。

成績

- 少なくとも3種類以上発見して下さい。
- 7種類以上発見できたら、たいしたものです。
- 10種類以上発見できたら、観察したことをまとめてみましょう。

もくじ

発見する生きもの ページ

ルール、成績、もくじ	1
森林公園の鳥たち	1～2
カワガラスの住む川	3～4
サワガニのいる谷	4
キノコと林	5
イノシシがいる里山	6
用水路とメダカ	7～8
ため池と水草	9
河原の石の下の昆虫	10
紀ノ川河口のカニたち	11～12
砂浜とスナガニ	13
磯とイソギンチャク	14

森林公園の鳥たち

- 和歌山市加太森林公園は、紀伊半島から淡路島を経て、四国・九州へ向かう渡り鳥の通過コースの真ん中にあるまとまった山地です。
- 年間を通して、多様な山地性の野鳥を観察することができます。

春

キビタキは、東南アジアから夏鳥として県下のやや高い山地に渡ってくる小鳥です。



キビタキ

夏

オオルリは、東南アジアから夏鳥として小さなせせらぎ沿いの森林に渡ってきます。



オオルリ

秋

タカの仲間は9～10月にかけて昼間に大規模な渡りを行います。その渡りの主役はサシバといえます。南西諸島、東南アジアに渡って冬を過ごします。



サシバ

冬

森林公園には、冬になると渡り鳥もいなくなります。その中でシジュウカラはにぎやかに飛びまわっています。



シジュウカラ

和歌山市加太森林公園